



京丹後に棲む  
絶滅危惧種のハヤブサ

# ハヤブサ

ニュース No.86

2023. 7. 18

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒 602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

## 「街なかピラ」の報告と

### 今後のお知らせ (文責 白井)

2023年6月の報告

第153回 6月9日(金) 北野天満宮 5人

大雨が朝には止んで何とか実施できました。

<街の人の声>

●「平和外交が大事なのは分かるけど、そんな力あるやろか」(80代男性) ●「子供が生まれた時、この子が戦争に取られたらと案じたが、今60才を越した」(戦争体験者・女性) 戦争反対の闘いを続けたからですよと話合った。※京都の住人ではないからとピラを受け取らない人がある。

第154回 6月20日(火) 烏丸北大路 7人

<街の人の声>

●「平和外交が出来る政治家がいなくなった」(鹿屋の近くに住む男性) ●「米軍基地は良いことだ。9条があるからと何も持たずに攻められたら…、戦争は絶対にアカンと思うけど」(70代男性) ●「基地のことは知っている。つぶさんとアカン」(50代男性) などなど。

第155回 7月10日(月) 大手筋商店街 11人

※7月の報告はハヤブサ8月号に回します。



今後の予定です

第156回 7月21日(金) 東寺さん周辺

集合場所: 近鉄電車「東寺」駅前

第157回 8月7日(月) 出町商店街

集合場所: 河原町今出川交差点の北東角

第158回 8月24日(木) 堀川三条商店街

集合場所: 市バス「堀川三条」停

時間はいずれも 11:00~12:00 です。

無理のない体調でご参加ください。待っています。

連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)

## No X-Band京都連絡会 7月例会

7月27日(木)18:30 ひとまち交流会・京都

## 朝鮮戦争休戦70周年記念学習会

おはなし 池田たかねさん(事務局長)

今年に朝鮮戦争の「休戦協定」から70年です。朝鮮戦争はなぜ起こったのか? そしてなぜ、「終戦」ではなく「休戦」のまま70年間もそのままなのか?

米国は、朝鮮戦争で「北=共産」と闘うという口実で南朝鮮の革命派を徹底弾圧し朝鮮革命を阻止した。

そして米軍は、「休戦」の年、韓米同盟を結び、朝鮮半島に「戦争の火種」を残し、朝鮮南北を分断し、対立させ、終戦ではなく、戦争状態が継続する「休戦」とした。

日本の再軍備もこの朝鮮戦争の中から生まれた。日米両国は、この朝鮮戦争を利用してサンフランシスコ対日講和条約で日本の再軍備を目指し、日米安保条約を締結し、新憲法を踏みにじり、日本を東アジアにおける「反共・反革命の砦」として再建する方針を確定した。日本の支配層も「非武装という憲法」制約から脱することができると歓喜した。これ以降、自民党は、サ条約や日米安保を盾に憲法改悪を党是として改憲に突き進んでいる。朝鮮戦争を歴史的に振り返ることは、日本の戦後史の重要な歴史認識の再点検につながります。皆様のご参加お待ちしております。 大湾

## 8月例会 No X-Band京都連絡会

8月24日(木)18:30 ひとまち交流会・京都

## ミャンマー人民の闘いに連帯しよう!

おはなし 瀧川 順朗さん

ウクライナの人々を支援する人々が多いが何故、ミャンマーの人々の闘いは支持されないのか?

ウクライナ支持は、ゼレンスキーと NATO の戦争を支持してウクライナ人の血と命を落とさせているが、国軍と対峙する Myanmar の人々の闘いは、労働者人民の新社会建設に通づる。私たちは、国家を支持するのではなく Myanmar 人民の闘いを国際連帯で支え、支持することを呼びかける! 乞うご参加を! 大湾

## <京丹後訪問案内>

8/8 (火)、8/29 (火)

午前 8 時 30 分、鴨川五条大橋西詰 GS 前集合  
(参加される方は事前連絡をお願いします。)

池田 090-7108-5508



米軍基地前での交互动

岸田政権の戦争政策、日米一体の戦争体制づくりのなかで、日米韓のレーダー情報の即時共有など米軍 X バンドレーダー基地もさらなる機能強化が進められようとしています。同時に、報道によれば、6 月 26 日夕方に米軍関係者と民間の車両同士の事故が発生。翌日に防衛局から「事故によるけが人が発生している模様」との一報が京丹後市・京都府にあったようですが、しかし防衛局はその後、「調査中」として事故内容を明らかにせず、7 月 6 日になってようやく京丹後市から防衛局から得た情報として「現時点で双方の当事者にけがはないこと」が発表されました。また、7 月 1 日には米軍関係車両が田んぼに転落する事故が起こったようです。昨年 11 月の米軍関係車両による人身事故を「軽微な物損事故」として処理しようとした問題に続き、防衛局による隠ぺい体質があらためて明らかになりました。

また、防衛局が公表した基地周辺海域での今年 3 月の水質調査結果によれば、尾和沖と袖志東側沖で COD (化学的酸素要求量) が環境基準値を上回りました。COD は水の中に含まれている汚れの度合を示す数値で、その数値が増える原因の多くは生活排水だと言われています。米軍人の基地内隊舎への入居による生活排水の増加とそれによる海水の汚染の可能性は当初より懸念されていたことであり、必要な対策がとられるべきです。

米軍・防衛局の住民無視を許さず、戦争体制づくりを阻止して基地撤去に向かう声を広げていきましょう。

## 7・1 京都沖縄連帯集会



円山野外音楽堂

「基地のない平和な沖縄・日本・東アジアを！」を掲げて、14 回目となる京都沖縄連帯集会が 7 月 1 日に円山野外音楽堂で開催されました。

集会でのメイン講演は、沖縄国際大学の教員で『日米地位協定入門』などの著書がある前泊博盛さんの講演によるものでした。

前泊さんは、「台湾有事」論に対して、本当に戦争が起こればその被害は沖縄のみならず日本全体に及ぶものであり、危機をふりまくことで誰が得をしているのかを見定めることが必要だと指摘しました。そして、「傍観者の好戦論」ではなく「当事者的非戦論」の立場に立って行動していくことを呼びかけました。また、現在進んでいる南西諸島での自衛隊の配備増強やシェルター建設計画に触れながら、「軍は民を守らない。これが沖縄戦の教訓です。かつて『捨て石』とされた沖縄を再び戦場にしてはならない」と訴えました。

集会ではまた、京丹後の永井友昭さんから報告もありました。永井さんは米軍 X バンドレーダー基地をめぐる最近の状況として、土地利用規制法の下で基地周辺が「特別注視区域」にされ監視が強まろうとしていること、つい最近も米軍関係車による交通事故が起こったが、その中身がすぐに報告されていないという問題を報告しました。

その後川口真由美さんらによる歌と演奏がありました。デモに移る頃には集会が始まる前から降っていた雨も止み、「沖縄を戦場にするな!」、「辺野古新基地建設反対!」、「南西諸島でのミサイル配備反対!」などのシュプレヒコールと共に市役所前までのデモ行進を行いました。  
(池田)

# 沖縄の人々(1%)は闘い続けている！ 99%の日本人々こそ勝利のカギを握っている！

## 沖縄の今

大湾宗則

辺野古の埋め立て阻止の闘いは、現在も海上でカヌーや抗議船での闘いが続き、ゲート前で座り込みは続いている。

一方、防衛省が提出した軟弱地盤の改良工事計画を沖縄県は不承認とした、これに対して国土交通相が取り消し採決を行った。沖縄県は国交相の採決は違法と行政事件訴訟を行い、7/12結審し、11/15に判決が出される予定。

ところがこの判決も出ていない状況の下で防衛省は、「設計変更の承認を経ずとも当初の(2013年に仲井真元知事が出した)埋め立て承認で工事は可能」と強調している。

具体的には、大浦湾側に投入する予定の土砂は、先に埋め立てた辺野古側に仮置きする計画で工事業者の選定に入っているとのこと。

司法判決を無視した国家権力の独裁がまかり通る日本の現状こそ許してはならないし、変革しなければならない。

日本政府は、辺野古埋め立てを強行しつつ、並行して2016年与那国、2019年宮古と奄美、2023年3月石垣に自衛隊ミサイル部隊が配備した。今年中には沖縄うるま市にも配備が予定されている。先島ではミサイル・兵站基地反対の闘いが続いている。県議会も決議を上げた。

以上の現状を知れば、昨年12月に閣議決定した「国家安全保障戦略等三文書」は、敵基地攻撃の装備・配備も予算も沖縄・先島諸島に集中している。それに合わせて沖縄に日米統合司令部を設置して米軍による日米両軍の統一指揮権や沖縄配備の陸上自衛隊旅団が師団に格上げされている。中国、朝鮮を敵視して東アジア防衛を名目に攻撃的な布陣を進めている。

沖縄ではこの日本政府の動きに対して「沖縄を再び戦場にさせない」と声を上げ、「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」を中心に全県的な自衛隊配備反対の組織化に取り組んでいる。

## 1%の沖縄と99%の日本

沖縄は戦後78年、ひと時も休まず米軍と闘い基地の整理・縮小・撤去闘争を続けてきた。

1972年の沖縄返還が「核密約の米軍基地付と新たに自衛隊配備に反対し、安保条約廃棄を掲げた地平にたどりついた。この歴史認識を継承し、発展させることこそが大切だ。

この「歴史認識の到達点」からすると今日の沖縄と日本の闘いは、日米安保条約と自衛隊が違憲であると正面から言いきれない弱さが

ある。闘い続けながら克服していくしかない。

こんなことが言えるためには京都で、全国各都道府県で米軍基地・自衛隊基地撤去の戦いを全力で取り組み、それらを踏まえて沖縄の辺野古新基地建設反対、沖縄・先島への自衛隊配備反対闘争を全国共同闘争組織の建設と共に拡大していかなければ勝利はない。

## ここ京都では…

京都での沖縄連帯の闘いは、停滞し、後退さえしている。どの集会・デモも基調がなく、闘いが見えず、参加者も少ない。集会・デモを「やった」という自己満足。私はそう感じている。

「沖縄の民意を踏みにじるな」の声は、沖縄県民全てを入れても約140万人で日本全国の1%でしかない。残る99%は自民・公明連立(岸田)政権を支えている。これが沖縄と日本の悲惨と不名誉の元凶である。今日の自民・公明政権の傲慢は、労働者大衆に非正規差別雇用制度を持ち込み、老朽原発の再稼働や放射性汚染水の海洋垂れ流し、戦争準備の増税と社会保障切り下げは人々から怨嗟の声が上がっている。

ここ京都で全国の一環として沖縄連帯の大衆的広がりをつくり出すか。このことに成功すれば全国に波及し、辺野古埋め立ては止められる、政府の戦争準備も止められる。

## 三上智恵監督「沖縄、再び戦場へ」上映運動で 共同で闘える体制づくりをやり直そう！

まず団体個人が現状を反省的に捉え、しかし前向きに相互に協力すべきです。

6/29、ひとまち交流館で「沖縄、再び戦場へ」の予告編(スピン オフ)を鑑賞した。

監督の三上智恵さんは、負け続ける沖縄の闘いを取り続けることの苦痛を吐露しつつ、沖縄・先島に自衛隊配備が進む現状を映像で追いながらそれに対峙する先島の人々の悲喜こもごもを主人公として描いている。そしてこの映画を「まだ何かをやり遂げなければならないと思っている人々をつなぐ役割を果たしたい」、との熱い趣旨を述べている。

## 映画は来年夏ごろ完成の予定です。

三上智恵さんの意気込みに応えてこの映画本編をここ京都で大々的に取り組み、京都における沖縄連帯の輪を再建する契機になればと提案します。実行委員会呼びかけの際はご協力を！

## 毒水(PFAS)は飲みたくない!

米軍に国内法を強制する地位協定の抜本改定を!  
大湾宗則

「しとしと」降る夏の長雨という響きが当たり前であった梅雨時期、最近「集中豪雨」が各地を襲い、被害が甚大と報じられている。

河川が氾濫し、生活インフラが破壊される。特に断水、停電。また一方、4月から30度近い真夏日が続き、最近では関東で39度を超える熱波。「水分補給を!」とテレビが呼び掛けている。水のありがたさが痛感される。人間の体の半分以上(幼児75%、成人65%)は水でできている。水の大切をひしひしと感じる。

沖縄で水は「命ぬ水 ぬちぬみじ」という。ところがこの沖縄の水に、特に沖縄中部(那覇市、宜野湾市、浦添市、北谷町、中城村、北中城村)に給水している北谷浄水場からPFAS(有機フッ素化合物)が含まれていることがわかり大問題になっている。調べると中部を流れる永田川、比謝川、天願川、嘉手納井戸群から取水した水にPFASが含まれていた。更に道路や農地などあらゆるところから検出された。これら地域の中心に嘉手納基地、普天間基地があり、基地で使用する泡消火剤が原因と推定されている。

しかし、米軍は立ち入り調査を認めず、日本政府(防衛省)も日米合同委員会でそれを追認してきた。全国の自衛隊基地からも高濃度のPFASが検出されている。

米国環境保護庁(EPA)は「EPAは米国内に対処し国外は管轄外で権限はない」、在日米軍(に関わる環境)問題は「日米安保、日米地位協定、国防総省と日本政府の間で解決されるべき」と断言、突き放している。

ドイツの地位協定は、米軍にドイツの国内法と更にドイツの厳しい環境法令が直接適用されることも付け加えられている(ボン補足協定53条54A条)。イタリアの地位協定は、米軍の訓練行動はイタリア軍司令官の許可を必要とし、イタリアの法令順守義務が明記されている。ベルギー憲法は、第185条で外国軍隊の活動は国内法に基づくことが明記されている。オーストラリアでは米豪地位協定13条で米軍にオーストラリアの国内法が適用されている。米軍もまた、米陸軍法務総監法務センターは2017年の作戦便覧で「近代の原則では…他国領域内に存在している軍隊は、その国の法令を遵守しなければならない」と。日本はなぜ不適用?  
沖縄では朝起きて蛇口を開くと「毒水」が出る。

この水で炊飯し、子供のミルクも作っている。「毒・有機フッ素」は体内に蓄積し、発育遅延、肝臓、免疫低下、甲状腺への影響などを引き起こし、これにストレスを覚えて人々の心身をむしばんでいる。結局、日米地位協定第25条(日米合同委員会)で日米政府が協議する問題であり、日本人民の意志を政府に強制できるかどうか問題なのだ。沖縄1%の「命」を日本99%の手で守り抜くことこそ人権尊重に値する。

沖縄県民等に「美ゆら水」を! 米軍に国内法の適用を!  
守れないなら日本から出ていけ!と強制すべきなのだ。

## お知らせ

7/19(水)18:30 ~ 京都市役所前

京都 19 行動(市役所前集会⇒19:00 からデモ)  
主催 京都 1000 人委員会京都連絡会

7/20(木)18:00 ~ 京都タワー前 街頭宣伝活動

辺野古埋め立て反対、沖縄・先島へのミサイル配備反対!  
PFAS(フッ素化合物=毒水)は廃棄処分せよ!  
主催 辺野古埋め立て反対京都実行委員会

7/23(日)14:00 ~ 15:30 集会 関電本店前

最古の老朽原発 高浜一機うごかすな! 緊急集会  
使用済み燃料の行き場はないぞ!  
フランスへの搬出でごまかすな!  
集会後、西梅田公園からデモあり  
主催 老朽原発動かすな!実行委員会

7/26(水)19:00 ~ 木屋町・サザンカ亭

No Base! 7月例会 夏の納涼ユンタク¥2,500.-  
企画は当日のサプライズ、おたのしみに・・・  
1%の沖縄の民意と99%の日本の民意  
…日本の民意の変革こそ私たちの使命…沖縄への想いと私達ができること…ユンタクで対話と行動の大切さを!  
主催 No Base! 沖縄とつながる京都の会

7/28(金)18:30 ~ L大阪5F 研修室2

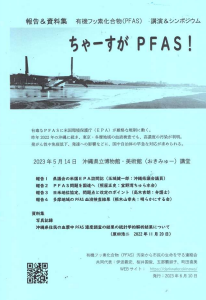
2023 岩国行動スタート集会 会場カンパ500.-  
現地報告 住民投票を力にする会 松田一志さん  
日米地位協定と岩国、米兵による事件・事故、怒りの現地2月集会など  
主催 岩国・労働者反戦交流集会実行委員会

7/31(月)17:30 ~ JR 大津駅前広場

大津地裁包囲&ぐるぐるデモ  
ビラまきは犯罪じゃないぞ!  
コンプライアンス(社会的規制)を押し進めよう!  
社会権(生存権・労働基本権・教育権)を学べ、学べ、刻み付けろ! 脳と身体の骨に!  
関生支部への弾圧は許さない!  
主催 反彈圧 京滋実行委員会

## 宣伝

## ちゃーすが PFAS



有機フッ素化合物 講演&シンポジウムと資料集

米・独・伊・韓など諸外国の環境影響評価と米国との地位協定がわかりやすく書かれています。ご注文お待ちしております。

一部 500.-

宜野湾・普天間の高橋年男さんからの推薦です。